



現場で活躍する女性達

このコーナーは、月に1回、現場で活躍する女性に業務内容や仕事に対するやりがい、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。



西濃運輸株式会社

ロジスティクス部 東京本社 営業部

下川 かさねさん

PROFILE

2013年入社。東京都出身。入社後1年間、名古屋東支店でドライバー研修。その後、鶴見支店に配属。神奈川エリアを経て、2016年6月現部署の営業部に異動。大学時代、イギリスに1年間留学したことで、将来は日本と海外をつなぐ仕事がしたいとの思いから西濃運輸に入社。現在は、国内業務で経験を積み、世界に通用する提案力を養うため、勉強の毎日です。休日は、中学生の頃から続けているテニスで汗を流しています。

～担当業務について教えてください～

私が所属するロジスティクス部では、セイノーHDのグループカを活かしたワンストップ物流をお客様に提案することを主な業務としています。中でも私は営業開発課に所属しており、お客様の依頼に対して最も適切な輸送システムを提案・提供することに、日々取組んでいます。また、それらに関わる港での荷役作業や商品の保管、輸送等で発生する費用計上や人員管理・配置等も私の業務の一つです。お客様一人ひとり合った輸送システムを提案するため、毎日お客様とやりとりを重ねながら業務に取り組んでいます。

～仕事に対するやりがい～

当然のことながら、最適な物流システムとは、商品が入庫されてから実際にユーザーの手元に届くまで、その流れが完璧に管理されなければなりません。庫内でのロケーション管理から始まり、スタッフの配置や作業の調整、輸送ルートの設定等、実に多岐にわたる項目の設定や管理が必要であり、その何れも疎かにすることはできません。お客様はもちろん、社内のメンバーも含め、多くの人と何度も打ち合わせや協議を重ねて、ようやく築いたシステムが予定通り稼働し、無事に配達の完了を見届けた時には本当に達成感を感じることが出来ます。ときにいただくお客様からの「ありがとう」の一言は、達成感を何倍にもしてくれる魔法の言葉です。また、私は物流営業の「柔軟さ」に面白みを感じています。無形の営業であるからこそ、「できないことはなにもない」と考えています。一見、輸送が困難な大型商品や、細かい作業を伴う案件も、工夫を重ねれば必ず取り扱えます。一つの商品を運ぶため、仲間と協力して頭を捻り、お客様に適した解決策を考える、その瞬間にもやりがいを感じます。



～今後の抱負や目標について～

今よりももっと女性が活躍できる環境を整えていくことが今後の目標です。営業先で、お客様に珍しいねと言われることも少なくありません。そんな状況だからこそ、今後入社してくる女性が現場で活躍でき、よりのびのびと業務に取り組むことができる環境づくりにも力を入れていきたいと思っています。プライベートでは何と云っても結婚・出産です。確かに当社の女性総合職はまだまだ少なく、営業職に就いている女性はさらに少ない現状ではありますが、一方で当社は育児休暇を終えて現場に戻ってくる女性社員が数多く、復帰しやすい家庭的な環境が自慢です。私も出産・育児を経て、仕事に復帰し、育児と仕事の両立を図りたいと思います。

